
2020年8月4日（火）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol.65

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2020年7月）
- 2 会計基準の公表予定等
- 3 ワンポイント開示会計問題演習「連結キャッシュ・フロー計算書2」
- 4 児玉厚の開示川柳「キャッシュ・フロー PDCA 開示せよ！」
- 5 編集後記

1 会計ニュースダイジェスト（2020年7月）

- 1) 経産省、社外取締役の在り方に関する実務指針を策定（7月31日）

<https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200731004/20200731004.html>

- 2) 東証、市場区分の再編に係る第一次制度改正案を公表（7月29日）
（意見募集期限：2020年9月11日）

<https://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d1/20200729-01.html>

- 3) 経産省、新時代の株主総会プロセスの在り方研究会報告書を公表
（7月22日）

https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/shin_sokai_process/20200722_report.html

- 4) IFRS「財務諸表の表示」改正の適用を1年延期（7月15日）

<https://www.ifrs.org/news-and-events/2020/07/iasb-defers-the-effective-date-of-amendments-to-ias-1/>

- 5) 7月豪雨による有報等提出期限延長を10月30日まで認める（7月14日）

<https://www.fsa.go.jp/news/r2/sonota/20200714.html>

- 6) IFRS「リース」改正など指定国際会計基準に（7月10日）
（金融庁告示第38号）

https://www.fsa.go.jp/news/r2/sonota/20200710_kaikei.html

- 7) 金融庁、四半期報告書における新型コロナウイルス感染症の影響に関する
企業情報の開示について公表（7月1日）

<https://www.fsa.go.jp/news/r2/sonota/20200701.html>

2 会計基準の公表予定等

- ・先月公表された基準等については上記「会計ニュースダイジェスト」をご覧ください。

- 1) IFRS（2020年12月までの公表予定）
（無印：確定 ED：公開草案 DP：ディスカッションペーパー
RI：情報要請）

（1）リサーチプロジェクト

- ・共通支配下の企業結合：DP 2020年9月予定
- ・適用後レビュー（連結等）：RI 2020年10月予定

（2）基準設定プロジェクト

- ・料金規制活動：ED 2020年10-12月予定

（3）メンテナンスプロジェクト

- ・会計方針及び会計上の見積り（IAS第8号改正）：2020年10-12月予定
- ・開示上の取組み（会計方針）：2020年10-12月予定
- ・銀行間取引金利改革及び財務報告への影響フェーズ2：2020年8月予定
- ・セールアンドリースバックにおけるリース負債：ED 2020年9月予定

- ・ワークプラン

<https://www.ifrs.org/projects/work-plan/>

- ・IASB Update

<https://www.ifrs.org/news-and-events/updates/iasb-updates/>

2) 日本基準

- （1）取締役等の報酬等として金銭の払込み等を要しないで株式の発行等を

する場合における会計処理：公開草案 2020 年 8 月予定

(2) 金利指標改革に起因する会計上の問題：2020 年 9 月予定

(3) 電子記録移転権利：公開草案 2020 年 9 月予定

(4) 連結納税制度の見直しへの対応（実務対応報告 5・7 号）
：2021 年 3 月まで予定

・現在開発中の会計基準に関する今後の計画（更新：2020 年 7 月 14 日）
<https://www.asb.or.jp/jp/project/plan.html>

3 ワンポイント開示会計問題演習

*メルマガ読者にのみ公開しています。

4 児玉厚の開示川柳

*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による
「開示川柳」をお届けしております。

「 キャッシュ・フロー PDCA 開示せよ！ 」

コロナ下で 2020 年 3 月期の有価証券報告書が開示された。

コロナは過去の実績推移の延長線上に未来がない事実を明確に示している。

投資家は「将来持続的成長する会社か否か」に最大の関心を持っている。

その成長シナリオが「中期経営計画」になる。

でも、営業キャッシュ・フローを継続的に生み出さなければ成長分野へ
投資できず、結果として持続的成長は実現できない。

また、資金繰りが悪化して倒産すれば投資額は全額損失になってしまう。

中期経営計画の合理性はキャッシュ・フローによって担保される。

キャッシュ・フローを含む中期経営計画に基づく PDCA を丁寧に説明することを
求めている。

では、有価証券報告書は投資家の期待に応えているのだろうか？

* 続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

5 編集後記

* メルマガ読者にのみ公開しています。

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7 階
URL : <http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co.,Ltd. All Rights Reserved.